

2016.03.17：次世代育成調査特別委員会 本文

○菅原正和委員 視察、どうも御苦労さまでございました。

私は、あのえがお館一つで縦から横に全てがつながっているというのが一番すごく感じました。何か相談があるときに、相談している人、なおかつ指導している人も後ろ楯が少しあるともう一步踏み込めるというのが非常に良かったなど、そのように感じました。その中に警察があり、弁護士がありということで、そういう後ろ楯というのは誰でも必要だなど。何かあったときに問題をそこまで言っても、最後にはその方が解決していただけるアドバイスをいただけたらとか、その人が解決していただけたらとか、そういうことがあるのが非常に良かったと。

あと、今わたなべ委員が言ったように、必ずしもこの施設が100%いいわけではないということがあるかと思うんです。どこでもこういう施設をつくったときに、改善、改善、改善をしながらどんどん進んでいくのであって、私たちもそういうときに、いいところは見習い、悪いところは、ここは違うよと。ただ、仙台に持ってきた場合に、これを丸々持ってきたって全然仙台で有効に働かないので、その場合には仙台だったらどういうことをやれば一番いいのかなと、そういうことを考えながらいろいろ利用していけばいいかなと思います。

あと熊本県に関しては、先ほど沼沢委員が言ったように、私もスマホの問題が非常に大きく、スマホって簡単に持って、LINEでも何でも与えられたらすぐできてしまうと。ただ、その後に削除が困難だということを皆さん知らない。フィルタリングを幾らしても、一回書き込まれるとネット上ではどんどん広まって、自分の知らない世界まで広まってしまうということを誰も知らない。こういうことはやっぱりきちんと教えていかなければダメなのかなと。今度、仙台市のほうでもガイドブックなり何なりで、そういうこともきちんと教えていく、そういう教育をしていかないと、これはとまらない。つくるほうは、いろいろなアプリをつくっても何でも、そこまで考えずに、うまく利用してくれればいい、あとお金がもうかればいいと、そういう方法で考えてしまうので、安全だよとかそういうのは一切ないので、そういうところをきちんと重視しながらガイドブックなり何なりをつくっていかれたらいいのかなと、そのように感じました。